

## 宇宙開発の現状報告

(平成 22 年 10 月 13 日(水) ~ 平成 22 年 10 月 19 日(火))

平成 22 年 10 月 20 日  
宇宙開発委員会事務局

### 宇宙開発に関する国内の動向

- JAXA「はやぶさ」プロジェクトチームの菊池寛賞受賞について  
10月13日(水)、(財)日本文学振興会による第58回菊池寛賞選考顧問開会が開かれ、JAXA「はやぶさ」プロジェクトチームの受賞が決定された。選考理由は、「プロジェクトがスタートして十五年、打ち上げてから七年、小惑星「イトカワ」に着陸し、数々の困難を克服して帰還を果たす。日本の科学技術力を世界に知らしめ、国民に希望と夢を与えてくれた。」である。
- JAXA とラムサール条約事務局との「だいち」を利用した湿地の調査に関する協力協定の締結について  
JAXA とラムサール条約事務局は、陸域観測技術衛星「だいち」を利用した国際的に重要な湿地の調査に関して協力関係を結ぶことで合意し、10月18日(月)協力協定の署名を行った。JAXA ではこれまで、「だいち」画像を試行的にラムサール条約事務局に提供してきた。今後、国際的に重要な湿地に関する「だいち」画像を協議して選択し、継続的にラムサール条約事務局に提供するとともに、「だいち」画像をデータベース化して公開する予定。ラムサール条約事務局は、湿地の適正な利用のため、提供された「だ

いち」画像を、湿地リストの作成、湿地の評価及び保全などに役立てる予定。

- 準天頂衛星初号機「みちびき」の測位信号の送信開始について  
10月19日(火)、JAXA は、「みちびき」搭載の測位ミッション機器の起動を行い、測位信号のうち L1-SAIF 信号(測位補正情報、GPS の健全性に関する情報を搭載した GPS 補強信号)の送信を開始した。今後、その信号が GPS 等の既存の衛星測位サービスに干渉を与えないことを確認した後、他の測位信号(GPS と相互運用が可能な補完信号や「みちびき」独自の実験用信号)の送信を開始し、同様に干渉を与えないことを確認しながら、段階的に出力を上げていく。所定の出力での全信号送信は約 1 週間後を予定。  
なお、当面の間は、測位信号の機能・性能の確認を行うため、一般ユーザが測位計算に利用することは出来ない設定になっている。

### 宇宙開発に関する海外の動向

- プロトンロケットによる放送衛星の打上げに成功 【露、米】  
10月14日(木)18時53分(世界標準時)、インターナショナル・ロンチ・サービス(ILS)社は、バイコヌール宇宙基地より、プロトン M/ブリーズ M ロケットを打ち上げ、米衛星ラジオ企業シリウス XM ラジオ社の放送衛星「XM-5」の所定の軌道投入(静止軌道)に成功した。打上げ時の質量は約 5,984 kg。